

平成29年度 那須クリーンキャンペーン（赤面山）



セレモニー全員集合（108名） 折角の看板が風で・・・

平成29年9月3日（日）、初めて参加の古林さんを含む8名は、午前6時15分、那須野が原HHを出発。行く手の那須の山々は幾分雲がかかりすっきりしない。

30分程走った頃だろうか、運転手の伊藤さんが「虹！」と一言。本当に雲の中に薄っすらと架かっているのが見える。「もしかしたら今日もブロッケンがみられるかな？」「今なら見られるかもしれないが、着く頃では無理！」等の話も出る。那須が近づくとつれ風が強くなってきた。木の枝が物凄く揺れている。7時に峠の茶屋駐

車場に着く。駐車場は一杯で、辛うじて止められた。外に出ると「寒いー！」
既に到着していた海津さんや、昨日から参加している和知さん・薄井さんとも合流。風の強い中、7時30分よりセレモニーが始まる。役員さんたちの挨拶があり、強風のためファミリ

ー登山教室は中止。クリーンキャンペーンは十分に注意して各クラブの判断とのこと。

私達黒羽山の会は、当初の予定された峰の茶屋から赤面山に向かうコースは無理と判断し、直接旧スキー場跡地から山頂を目指すことになった。前夜祭のみ参加の和知さんと別れ3台の車で赤面山駐車場に移動。支度を軽く体操してから、本日のCL伊藤秀子さんを先頭に8時25分出発する。

小石のゴロゴロした急坂を登り始めて直ぐに空き缶を見つけたが、帰りに拾うことにしやり過ぎす。脇の草地にルドベキア（園芸種）の花が盛りは過ぎたが咲いている。どうしてここに？？ススキやヤマハハコは咲いているもの



6-1



の、ガレた少々寂しい登りが続く。第1ゲレンデ辺りでやっと一輪の竜胆に出会う。

ヤマハハコも群生しているとそれなりに存在感が出てくるススキも穂が広がる前はツヤツヤした小豆色できれいだ。そしてリンドウ街道と呼びたいくらいに次々と沢山の紫色の花が迎えてくれる。振り返れば白河の町、

1701mの赤面山
山頂に着いた。写真
を撮っていると運よ
くおひとり様が登っ
て来た。シャッター
をお願いし全員で記
念撮影。山頂は風と
寒さで早々に退散。
少し下った処で早め
の昼食。海津さんの
ブルーベリーやCL
の伊予晩柑?等々デ
ザートまで味わい満
足。いよいよ下山と
なるが、上る時には



リンドウ街道

空はスカイブルー、展望所からは中の
大倉尾根や朝日岳がいつもの見慣れた
姿とは違った山容を見せてくれる。空
はあくまでもブルー。樹林帯を過ぎ尾
根へ出ると風景は一変。ゆったりとし
た緑の斜面が広がっていて何とも言え
ず心地よい。しかし凄い風!吹き飛ば
されそうになりながらも10時35分



赤面山 (Δ1,701m) 山頂にて

気づかなかったが、ナナ
カマドやオカメノキの
実が赤く色づいていた。
大きめの石がゴロゴロ
している所では、バラ
ン又訓練などと両手を広げ
て石の上を飛んだり、動
かない古びたりフトに腰
かけたりと楽しみながら
下山。13時25分駐車
場に戻る。拾ってきたゴ
ミを前に写真を撮り帰途
につく。途中海津車、薄井
車と別れ、14時30分
那須野が原HHに帰着。
CLの秀子さん、皆を無
事に先導して下さりあり
がとうございました。

(鐘ヶ江 記)





ごみの収穫あり



- と き 平成 29 年 9 月 2 日 (土) ~ 3 日 (日)
- と ち ろ 那 須 峠 の 茶 屋 及 び 赤 面 山
- て ん き 晴 れ (で も 強 風)
- 参 加 者 2 日 和 知、薄 井
3 日 伊 藤 (C L)、植 竹 (S L)、鐘 ヶ 江 (報 告、記 録)、大 沼 (会 計)、
海 津 (撮 影)、伊 藤、古 林、薄 井、折 橋、坂 本
- お あ し 500 円
- コースタイム
那 須 野 ヶ 原 H H = 峠 の 茶 屋 (セ レ モ ニー) = ス キー 場 跡 P - 第 1 グ レ ン デー
06:15 07:00 07:30~08:00 08:25 09:05
第 2 グ レ ン デー 赤 面 山 山 頂 - 尾 根 下 (昼 食) - 第 2 デ レ ン デー 第 1 グ レ ン デー
09:45 10:35 11:00~30 12:05 12:50
ス キー 場 跡 P - 那 須 野 ヶ 原 H H
13:25 14:30

